

交流通信

vol.11

津山

宮古島

宮古島では、交差点などに交通安全を呼び掛ける警察官の人形がたくさん立っています。

彼の名前は“宮古島まもる君”。
まもる君は、宮古島地区安全協会職員兼宮古島警察署交通課職員で、宮古島の“特別住民票”を持つ特別住民なんだ。

宮古島の交通安全は、“宮古島まもる君”が守る！！

図秘書広報室 ☎32-2029

僕たちは、島内19カ所で街角に立ち、日夜、交通安全を呼び掛けているんだ。
兄弟は、みんな微妙に顔が違うので、僕たちを探して島を巡る観光客もいるんだよ。津山のみんなも僕たちに会いに来てね。



履歴書			
氏名	宮古島まもる	性別	男
誕生日	平成8年、月日不詳		
身長	180cm	体重	5kg
所属	宮古島地区安全協会職員 兼 宮古島警察署交通課職員		
階級	警視待遇巡查部長	趣味	人間観察
経歴	●平成8年、父・宮古警察署、母・宮古島地区交通安全協会の間に生まれる（実は5つ子で、生まれて間もなく交通安全意識啓発のため島内各地で立番勤務に就く） ●平成10年、クローン技術で兄弟が10人増え、早速、立番勤務へ ●平成21年、兄弟が4人増え、当然、立番勤務へ		



きらめく津山人

津山に初めて来た時の印象と里山再生に取り組むきっかけは？
近くのスーパーマーケットまで数十キロという北海道の弟子屈町に住んでいたので、車で5、10分でコンビニエンスストアに行ける津山は、都会だと思いました。
わたしは北海道で、土地開発などにより、自然環境が失われていく様子をたくさん見てきました。昔ながらの環境を守りたいと思っていたので、津山の里山の現状を見てこのま

北海道から、妻の実家がある津山へ来て、家族で牧場を経営し、里山再生などの活動を行っている末澤雅彦さんにお話を伺いました。

さくら牧場経営者
末澤 雅彦さん(宮部上)(写真中央奥)
未央さん(写真左)
志帆さん(写真右)
憲人くん(写真中央手前)
岳志くん(写真左)

和牛の繁殖も取り組まれていますね
津山で飼料などの運送に携わる中で、畜産にも興味があき、6年前から家族で和牛の繁殖を行っています。宮部上地区には、農業者の高齢化などにより、耕作されていない田畑があります。そこで、牛の放牧を始めました。食の安全・安心を考え、牛が口にするものから低・無農薬のものを与えています。その牛の排せつ物により、土壌の活力が保たれるので、耕地が荒廃することを防げると思っています。
人の手だけでは、全国的に増えている耕作放棄地を食い止めることは難しいと思うので、家畜の力を借りるのは有効手段だと思っています。

里山再生に向けてどんな活動をしているのですか？
宮部上にある平草地区は住む人がいない、消滅集落になってしまいました。
そこで、この地区にある古民家を購入し、再び、人が集えるような場所にしたいと思い、仲間と一緒に取り組んでいます。今後は、ここで、里山の生活体験や地域住民が交流できるようにしたいと思っています。



熱心に語る末澤さん

今後、津山がどんなまちになれば良いと思いますか？
どんどん新しいことに積極的に挑戦していくまちになってほしいです。今、津山に住んでいる人たちが、市外に出ていかなければならない魅力ある地域をつくるのが大切です。
わたしは今、日本最古の和牛の純血種といわれる「竹の谷蔓牛」を飼育しています。この種が岡山が発祥の地であることを、知る人は少ないと思います。そういう今ある資源を地元の人がもっと良く知り、守っていくことで、地域の特性を生かした産業も生まれます。わたしたちが、仲間と一緒に楽しみながら地域で活動することが、津山を元気にするきっかけの一つになると嬉しいですね。
4月には、古民家で古き良きものを知ることができるイベント「メイドイン岡山」を開催する末澤さん。北海道で培った開拓者魂を津山でますます発揮してほしいですね。

今ある大切なものを
守りたい

